

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年1月20日(月)
クラス名(年齢)	すみれ組(3歳児)
年間テーマ	音の探究活動

## 1、活動テーマ

<テーマ>

聞く

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・先月ミニハンマーを使って色々なものを叩き、音を鳴らして楽しみ、今はカスタネットや鈴、タンブリンを鳴らしたり、簡単な合奏をして楽しんでいる

## 2、活動スケジュール

・古くなった木琴をミニハンマーを使い、自由に音を出してみる

## 3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

- ・ミニハンマー
- ・古くなり、解体してある木琴

## 4、探究活動の実践

<活動内容>

・古くなり、解体した木琴を自由に並べ、バチやミニハンマーで音を鳴らして楽しむ  
 ・木琴の長さの違いや音の鳴らし方やバチの違いで音が変わることに気づき、伝える

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これなに?」と興味を持ち、触ったり、音を鳴らし始めた。</li> <li>・好きなように木琴を並べ、鳴らしてみると色々な音色があることに気づく。</li> <li>・「この音、聞いたことある」「ここ(バチの柄)で叩くとチンってなったよ」と友達と話しながら楽しんでいた。</li> <li>・「キラキラ星できるよ」と歌に合わせて鳴らしてみたり、クラスの合奏でやっているリズム打ちを試してみる子どももいた。</li> </ul>	  

## 5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・なかなか触れることがない木琴だが、音を聞いて身近な音に似ている音を見つけたりしていた。自分の身の回りの物や経験と結びつけ、より音を出すことを楽しめるのだと思った。また、クラスで行っている合奏のリズム打ちを木琴の音で再現している子どももいて、日頃の保育がこのような形で出てきて嬉しく、様々な体験が子どもの育ちに影響してくることを実感した。